

海外安全対策情報（平成31年1～3月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は安定し、NSW州全体の犯罪発生率は昨年と比較して、多くの罪種において同等又は減少している。一方で、殺人（+39.6%）、賭博（+139.1%）について大幅な増加がみられるほか、コカインや覚せい剤等の所持・使用にかかる薬物犯罪の検挙が増加傾向にある。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Baulkham Hills and Hawkesbury：強制わいせつ（+44.7%）、建造物侵入（+57.3%）

Blacktown：暴行・傷害（DV関連）（+10.7%）、強制わいせつ（+12.5%）、建造物侵入（+24.1%）

Northern Beaches：暴行・傷害（DV関連）（+19.4%）、窃盗（店舗対象）（+25.1%）、器物損壊（+17.1%）

Outer South West：強制わいせつ（+21.2%）、窃盗（車上ねらい）（+13.5%）、詐欺（+13.9%）

Outer West and Blue Mountains：建造物侵入（+29.9%）

South West：暴行・傷害（DV関連）（+12.7%）

Sutherland：強制わいせつ（+33.9%）

○ Coffs Harbour - Grafton：窃盗（車上ねらい）（+26.9%）、窃盗（店舗対象）（+62.7%）

○ Far West and Orana：暴行・傷害（DV関連）（+26.8%）、窃盗（乗物盗）（+19.7%）、窃盗（ひったくり、すり等人を対象）（+10.5%）、詐欺（+21.5%）

○ Hunter Valley excluding Newcastle：窃盗（店舗対象）（+23.4%）、窃盗（ひったくり、すり等人を対象）（+10.2%）

○ Illawarra：詐欺（+25.7%）

○ Mid North Coast：詐欺（+30.5%）

○ Richmond - Tweed：暴行・傷害（DV関連）（+22.7%）

○ Riverina：強制わいせつ（+36.2%）、詐欺（+21.2%）

○ Southern Highlands and Shoalhaven：暴行・傷害（DV関連）（+23.1%）

(2) 北部準州

治安情勢は安定しており、暴行・脅迫、性犯罪等人を対象とした犯罪は前年比-11.7%、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は+5.5%となっている。

特に住居や店舗に対する侵入・窃盗事案が増加している。

2 邦人被害

警察や国税庁、総領事館の職員等を装ったメールや電話による特殊詐欺が多発している。犯人は、「振込みが確認できない場合は、即座に逮捕状を執行する」等と被害者に申し向け、考える隙をを与えずに多額の現金を振り込ませようとする。このような振込みの指示があった場合、一旦電話を切り、関係機関や関係者に確認したり、ご家族や警察に相談する等の措置をとる必要がある。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、オーストラリア国内におけるテロの脅威度は依然 5 段階中上から 3 番目の「Probable」であり、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

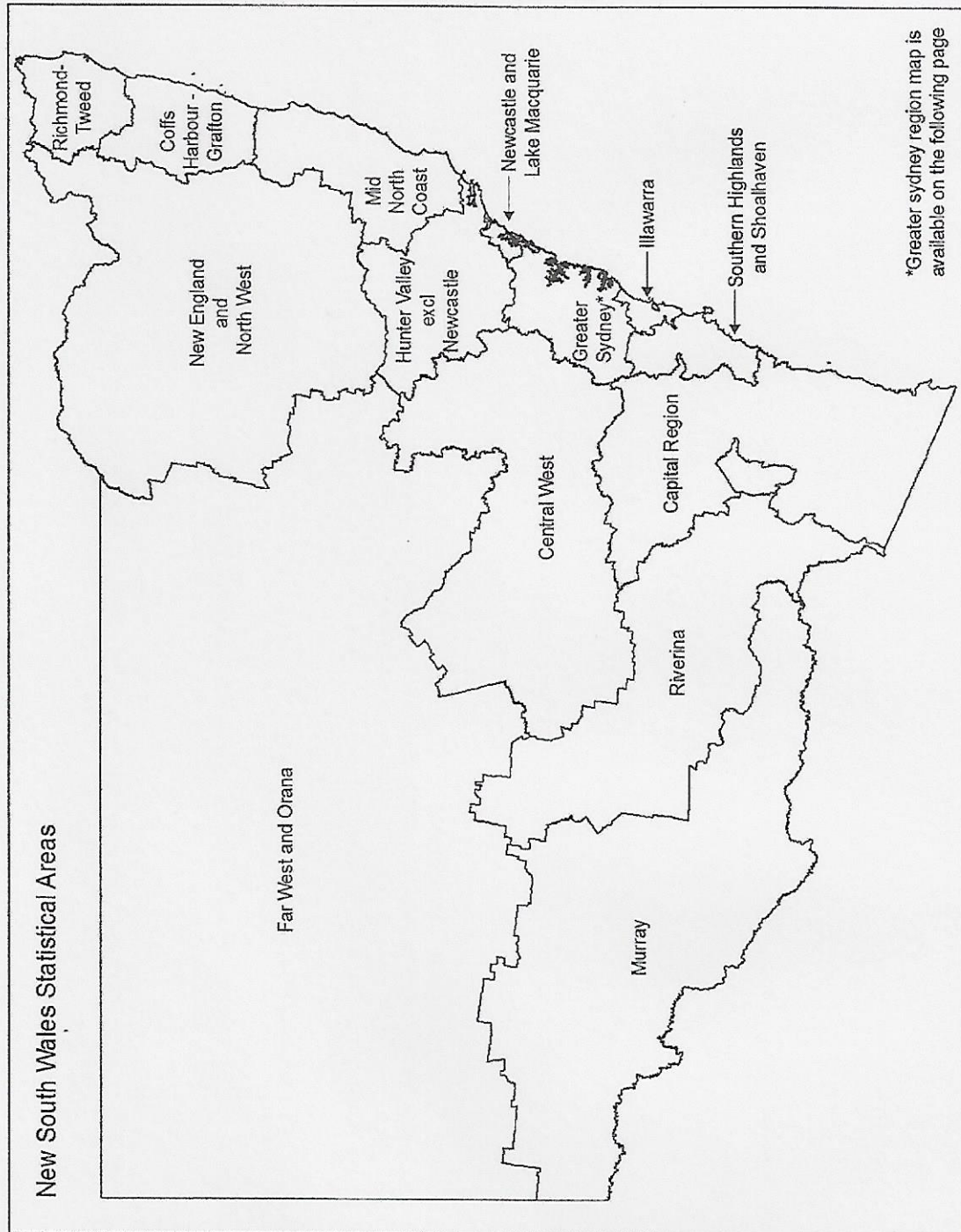
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

捕鯨・イルカ漁反対団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2018年4月から2019年3月までの1年間と前年同期との増減率）。

APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

